

皆様こんにちは。日頃より特定非営利活動法人フェザードフレンドの活動にご協力を賜り、ありがとうございます。フェザードフレンド通信は、当会の活動についてお伝えしていきます。第5号では、東京で開催されているバードハウス展示会の模様などをお知らせします。

「バードハウスー小鳥を呼ぶ家ー展」

大好評開催中です!!

平成 19 年6月8日～平成 20 年2月 23 日まで、大阪、名古屋、東京の3会場で開催している巡回企画展「バードハウスー小鳥を呼ぶ家ー」展が、現在最後の開催地、東京・銀座のINAX ギャラリー1で開催中です。会場には、アメリカ、イギリス等世界のバードハウス、バードフィーダー約 100 点の展示をはじめ、日本でのバードハウスをめぐる取り組みとして、フェザードフレンドの活動が紹介されております。小学校を舞台に、小学生と保護者が一緒に取り組むバードハウス製作会や、北海道の道東自動車道サービスエリアでのバードハウス設置の様子などが、パネルや実際に製作したバードハウスの展示などでわかりやすく紹介されています。

その他、フェザードフレンドの活動に御指導、御助言をいただいている北海道美瑛町の木工作家 山口裕さんのバードハウス喫茶店「ナブの家」の紹介と山口さんの作品の展示や、海外のバードハウスに関する書籍等も多数展示しています。



平成 20 年 1 月 18 日(金)には、バードハウス研究家であり元ノールインターナショナルジャパン代表取締役：井筒明夫先生による講演会「アメリカ文化にみるバードハウス ～庭先に小鳥を招こう～」が開催されました。

会場となった INAX:GINZA 8F セミナールームには、環境保全や環境教育に取り組まれている市民団体の方々など 70 名以上が集まり、座席が足りなくなるほどでした。

講演では、アメリカのバーダーの多さや、アメリカ先住民の持つ野鳥達へのリスペクト(尊敬)が今日のアメリカのバードハウス文化に受け継がれていることなどが語られました。また、日本ではアメリカのバードハウスが紹介されたときに、形を真似ることはできても、心を真似ることができなかった点が、日本とアメリカの差となったことを指摘されました。各家庭で一坪でもいいから小さな庭をつくり、そこにバードハウスを設置する、そんな家庭が 100 軒集まればその地域は野鳥たちのサンクチュアリ(聖域)になる、と話されました。

会場のみなさんは、メモを取ったりしながら熱心に井筒先生の講演に聞き入りました。また、後半の質疑応答では「カラスなどの対策はどうしたらよいか」「バードハウス設置にあたり近所の方々の理解を得るにはどうしたらよいだろう」など活発な意見交換がなされ、講演時間いっぱいまで会場は熱気に包まれていました。



小学校3校でバードハウス製作会を開催しました

■ 帯広市立北栄小学校

平成19年7月18日（水）、北海道帯広市立北栄小学校を会場に「バードハウス製作会」を開催しました。今回挑戦したのは4年生のみなさん65名です。まずは当会メンバーから、バードハウスの歴史や魅力、環境や人の心にもたらす効果についての説明を聞いて、それぞれ自分のイメージを膨らませてから、作品づくりに取りかかりました。

慣れない金づちを使い、一生懸命バードハウスキットを組み立ててから、北海道電力（株）新得水力センター様から頂いた流木等で思い思いの飾り付けをし、色とりどりに着色して、自分だけのバードハウスを作り上げました。

できあがった作品は、北海道道東自動車道のサービスエリアで、野鳥たちが利用しています。



■ 帯広市立光南小学校

平成19年9月27日（木）、北海道帯広市立光南小学校で「バードハウス製作会」を開催しました。バードハウス作りに挑戦したのは、6年生67名のみなさんです。

あいさつの後、3つのグループに分かれ、グループごとに当会メンバーから組み立て方や作業上の注意事項などの説明を聞いてから、製作を開始しました。

みなさん6年生ということもあり、釘うちなどの作業はとても力強く、スムーズに行なうことができました。また、飾り付けには、当会で準備した木片などのほか、事前に河川敷に出向いて各々が集めてきた気に入った形の流木や、毛糸など様々な素材も使用して、かなり凝った飾りつけをしていました。そのせいか、当初午前中だけの予定だった作業時間を大幅にオーバーして、5時間目まで入っての作業になりました。

出来上がった作品はどれも6年生らしく、それぞれのもつ感性を上手に表現した力作ぞろいとなりました。



■ 池田町立高島小学校

平成19年12月1日（土）、北海道池田町立高島小学校で「バードハウス製作会」を開催しました。バードハウス作りに挑戦したのは、全校生徒22名のみなさんと、保護者の方々です。

北海道建築士会十勝支部池田分会の方々から、作業の進め方について説明をいただいた後、みなさんお父さん、お母さんと一緒に製作を開始しました。

建築士会の皆様が建築端材を活用して用意したバードハウス製作キットを使い、みなさん、お父さん、お母さんと協力しながらキットを組み立てました。着色は親子で相談しながら色とりどりに仕上げ、建築端材の木片や帯広開発建設部池田河川事務所様から提供していただいた流木などで飾り付けをしました。

2時間ほどの作業時間が終わり、出来上がった作品はどれも、親子で仲良く取り組んだことがよくわかる温かみのある作品になりました。



完成したバードハウスは、平成19年12月17日（月）～27日（日）にかけ、「十勝川資料館」（北海道中川郡池田町大通南1丁目）に展示されました。

会場には、全校生徒22名のみなさんの作品が展示され、カラフルな家が立ち並ぶ小さな街のようになりました。色とりどりの作品はどれも存在感があり、一生懸命製作したみなさんそれぞれの個性が十分に発揮されています。訪れた方々は皆、子どもたちの豊かな感性に驚くとともに、ほっ、と心温まる気持ちになっているようでした。



バードハウス製作会の開催に当たり、NEXCO東日本高速道路（株）北海道支社帯広工事事務所様、北海道電力株式会社新得水力センター様、北海道建築士会十勝支部池田分会様、帯広市教育委員会様、北海道開発局帯広開発建設部池田河川事務所様、（財）河川環境管理財団様のご後援を賜りました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

「ハイウェイテクノフェア2007」で フェザードフレンドの活動が紹介されました

平成 19 年 11 月 15 日（木）～16 日（金）東京・お台場の「東京ビッグサイト」を会場に、日本の高速道路における建設や維持管理等に関する最先端技術を紹介するイベント「ハイウェイテクノフェア 2007」が開催されました。

2 日間にわたって開催されたこのイベントでは、75 の企業・団体から、計 363 の新製品やシステムが展示されましたが、その中で、フェザードフレンドが（株）ネクスコ・メンテナンス北海道様と連携して行なってきた道東自動車道サービスエリア・パーキングエリアでのバードハウス設置の取組についても紹介されました。

大きな会場の一角に、たくさんのバードハウスが十勝の風景写真とともに飾られました。また、小学生によるバードハウス製作会や懸架の様子、新聞報道やサービスエリア・パーキングエリアを利用されたお客様からのメッセージ等のパネル展示、小学生によるフィーダーへの餌の補充やハンドフィーディングの様子を記録した VTR の上映、関連書籍等の紹介も行なわれました。

高速道路の維持管理等で使用する機械や資材等、ハード面での展示が大勢を占めるなか、このような展示には訪れた方々も驚かれていましたが、みなさん大変興味を持っていただき、多くの方が見学してくださいました。

高速道路に関わる関係者が一堂に会するこのような大きなイベントで、フェザードフレンドの取組を紹介できたことは、これからの高速道路のあり方について新しい提案をする貴重な機会であったと感じます。高速道路を活用した地域活性化や自然環境の保護などの取組が全国に広がっていくことを期待したいと思います。



道東自動車道トマムIC～十勝清水IC開通式典に 池田小・北栄小の子どもたちが招待されました

平成 19 年 10 月 21 日（日）北海道横断自動車道（道東自動車道）十勝清水IC⇄トマムIC間（20.9km）が開通しました。道東自動車道は、北海道の経済中心地である札幌圏と、日本の農畜産物生産の中核を担う「食料基地」十勝地方を結ぶ大動脈として、全線（205km）開通に向け整備が進められています。特にこの度開通した区間は、濃霧や冬期の猛吹雪等で通行の難所である日勝峠、狩勝峠を回避できることから、その早期開通が待たれていました。

北海道上川郡占冠村トマムICで、約 400 人が出席し開通セレモニーが行なわれ、会場に、道東道十勝平原サービスエリア・長流枝パーキングエリアでのバードハウス懸架に取り組んできた北海道中川郡池田町立池田小学校と帯広市立北栄小学校のみなさん合わせて 36 人が招待されました。

招待されたみなさんは、それぞれの学校から 2 台のバスに分乗し出発。途中、十勝平原サービスエリアで、設置されているバードハウスを見学した後、会場入りしました。

みなさんを代表して、池田小学校 5 年生の小田進也くんと平田和穂さん、北栄小学校 5 年生の八木澤光大くんと中嶋ちなみさんが関係者の皆様と一緒にくす玉割りを行い、全員でパレード走行に出発する車列を、環境に配慮した和紙風船「エコバード」と盛大な拍手で送り出しました。その後、バスで新しい高速道路を走行し、窓から見える十勝の雄大な風景をみて楽しみました。

高橋はるみ北海道知事をはじめ、国会議員や関係自治体首長の方々と握手もして、みなさん、思い出深い一日になりました。



「十勝川まつり2007」で バードハウス製作会を行いました

平成 19 年 7 月 28 日（土）、北海道幕別町相川地先 十勝川右岸を会場に「十勝川千代田新水路」竣工式が開催され、併せて「十勝川まつり 2007」が開催されました。「千代田新水路」は、北海道開発局が十勝川の治水向上のため、平成 7 年から整備を進めてきたものです。

「十勝川まつり 2007」は、竣工式に併せ、河川整備の意義について広く住民の方々に理解を深めてもらうために開催されたもので、新水路に併設されている魚道の見学や、川に関する情報のパネル展示、また水生生物の観察会やラフトボート搭乗などの体験コーナーも設けられました。

フェザードフレンドは、十勝川まつり実行委員会からの協力要請を受け、会場で「バードハウス製作会」を実施しました。

会場に訪れた親子連れの方など、たくさんの方々が、展示されているバードハウスや冊子などを興味深げにご覧になられ、実際に製作された参加者の方々も「家の前に飾ります」と大変満足されたようでした。体験製作用に用意したバードハウスキットは全て無くなり、その後にくられた方々は大変残念がられていました。

井筒明夫先生の御自宅を 訪問しました

日頃よりフェザードフレンドの活動に多大なる御指導、御協力を頂いている井筒明夫先生のご自宅を、このほどメンバー 4 人が訪問しました。

東京都内にある先生の御自宅は、お庭に素敵なバードハウス・バードフィーダーが多数設置され、シジュウカラ、メジロ、ヒヨドリ、キジバト等たくさんの野鳥たちがひっきりなしに訪れています。その「プチ・サンクチュアリ」をリビングの大きな窓から眺めていると、時がたつのを忘れてしまいます。

また、フェザードフレンドの活動に対するアドバイスもいただきました。いただいたアドバイスを参考にしながら、今後の活動を展開していきたいと思えます。



井筒先生のホームページ「バードハウス・フィーダーミュージアム」
(URL: <http://www.k3.dion.ne.jp/~bird/>) もご覧ください。



～BOOK紹介～



バードハウス 小鳥を呼ぶ家

出版：INAX 出版 (ISBN：978-4-87275-840-5)

著者：井筒明夫、新津秀幸、柳川久

発行：平成 19 年 6 月

欧米では「野鳥と自然を身近に楽しむ装置」として生活の一部となっている「バードハウス」。その文化の紹介や様々なデザインを沢山の美しい写真で掲載しています。また、フェザードフレンド理事長 新津秀幸の執筆による活動の紹介も掲載されています。

編集後記

北海道・十勝は連日厳しい寒さが続いています。早朝の気温が -20°C 以下になることも。そんななかでも、野鳥達はたくましく生きています。

さて、私事ではありますが昨年引越をしました。庭ができたのでフィーダーを設置したところ、早速アカゲラがやってきてピーナッツをついばんでいます。身近に野鳥たちが来てくれるのはほんとに素敵ですね。でも、家の壁や屋根をつつくのは勘弁していただけないかと… (西)



フェザードフレンド通信 平成 20 年 2 月発行 (005 号)

編集・発行 特定非営利活動法人フェザードフレンド

〒080-0010 北海道帯広市大通南 27 丁目 7 TEL・FAX 0155-22-7002

HP http://www.geocities.jp/feathered_friend_2005/

E-mail ff_obihiro@ybb.ne.jp